発表論文の表題 MS 明朝 16 ポイント

中国　太郎*，中国　次郎，中国　三郎
（中国支部連合 MS 明朝 12 ポイント大学）

English Title in Times 14-point

Taro Tyuugoku, Jiro Tyuugoku, and Saburo Tyuugoku (Tyuugokusiburengou Times 9-point University)

1.　大見出ＭＳゴシック１０ポイント

表題を含め日本語は MS 明朝としアルファベットは Times New Roman を使用する．表題は，16 ポイントとし，氏名と所属は 12 ポイント，英文タイトルは 14 ポイントとし英文氏名および所属は 9 ポイントを使用する．各章の見出は，ＭＳゴシック 10 ポイントを使用し，本文は 9 ポイントとする．余白は，上下が 25mm で左右が 20mm とし，2 段組みとする場合は，各段を 8mm 離す．本文が入りきらない場合，改行幅や文字幅を適宜修正して対応し，余白等は変更しない．□□□□□□□，□□□□ので報告する．

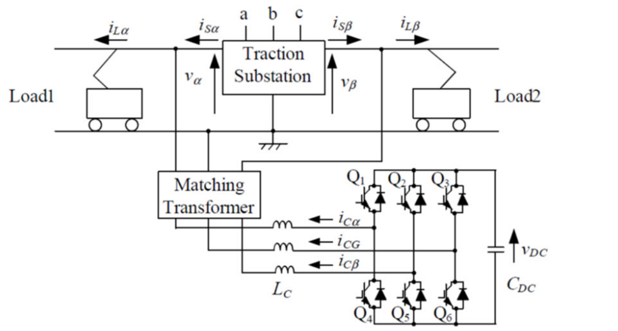
2.　大見出ＭＳゴシック１０ポイント

図 1 に，本論文で□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□を示す．□□□□□□□□□□□□□□□□□□で□□□□が提案されているが[1]，□□である．引用文献[2,3]□引用文献[3-5]，文献[5]では，□□□□□□□□□□□□□□□□．補助スイッチング素子である S_5 と S_7，S_6 と S_8 は非対称 PWM□□□□□□を実現できる．ここで，L と C_r に□□□□□□□□□□□□．

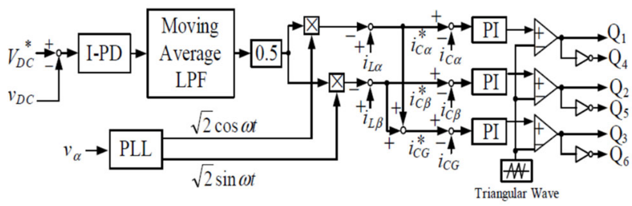
3.　シミュレーション結果

提案回路の□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□５□□□□10□□□□15□□□□20□□□□25□□.

□□. □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□５□□□□10□□□□15□□□□20□□□□25□□□. □□□.



(a) A power circuit diagram in Times 8-point.



(b) Proposed circuit configuration in Times 8-point.

図 1．回路図 MS 明朝 8 ポイント

所属と氏名の書き方は，
著者が 1 人の場合は，

中国　太郎*（中国支部連合大学）

著者が 2 名以上の場合は，

中国　太郎*，　中国　次郎
（中国支部連合大学）

とする．また，発表者の氏名の右肩に ＊ を付すものとする．□□□　□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□５□□□□10□□□□15□□□□20□□□□25□□□□□５□□□□10□□□□15□□□□20□□□□25□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□

□□□

表 1. 回路定数 MS 明朝 8 ポイント

□□□.

□□□.

□□.

□□.

□□.

4. 大見出ＭＳゴシック１０ポイント

本論文では，□□.

下記の “参考文献”は MS ゴシック 8 ポイントを使用する．英文は Times New Roman とし日本語は MS 明朝で両者ともに 7 ポイントを用いる．なお，1 頁原稿の場合では，スペースの都合上，参考文献の「タイトル」は省略して良いものとする．

謝辞

本連合大会を実施するにあたり，ご協力頂いた方々に深く御礼申し上げます．

参考文献

[1] T. Tyuugoku, J. Tyuugoku and H. Tyuugoku,“An Isolated Bidirectional DC-DC Soft Switching Converter for Super Capacitor Based Energy Storage Systems,”Conference Record of the 38th IEEE Annual Power Electronics Specialists Conference, pp. 390-395, 2007

[2] 著者名，著者名，著者名，“タイトル,”雑誌名，vol.巻数，no.号数 pp. ページ数 ，発行年

[3] 著者名，著者名，著者名，“タイトル,”雑誌名，vol.巻数，no.号数 pp. ページ数 ，発行年

[4] 著者名，著者名，著者名，“タイトル,”雑誌名，vol.巻数，no.号数 pp. ページ数 ，発行年